

平成31年度4月入学

横浜国立大学大学院 環境情報学府

博士課程前期（修士課程）

第二次学生募集要項

平成30年9月

■願書受付期間:平成30年10月29日(月)～11月2日(金)■

<http://www.eis.ynu.ac.jp>

問い合わせ先

理工学系環境系支援課環境情報学府係〔環境情報1号棟2階〕

住 所： 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-7

電 話： 045-339-4425, 4426

E-mail: kankyojoho@ynu.ac.jp

時 間： 9時から12時45分まで

および13時45分から17時まで

環境情報学府博士課程前期 専攻別問い合わせ教員一覧

専攻名	教育プログラム名	氏名	電話番号 E-mailアドレス
人工環境専攻	安全環境工学	笠井 尚哉	045-339-3979 kasai-naoya-pf@ynu.ac.jp
	環境学	荒牧 賢治	045-339-4300 aramaki-kenji-cr@ynu.ac.jp
	社会環境	遠藤 聡	045-339-3791 endo-akira-hx@ynu.ac.jp
自然環境専攻	生態学	中森 泰三	045-339-4357 nakamori-taizo-gc@ynu.ac.jp
	地球科学	和仁 良二	045-339-3688 wani-ryoji-cg@ynu.ac.jp
	環境学術	及川 敬貴	045-339-4333 oikawa-hiroki-nm@ynu.ac.jp
情報環境専攻	情報学	吉岡 克成	045-339-3690 yoshioka@ynu.ac.jp
	数理科学	原下 秀士	045-339-4209 harasita@ynu.ac.jp
	情報学術	吉岡 克成	045-339-3690 yoshioka@ynu.ac.jp

目 次

I	はじめに	2 ページ
II	平成 31 年度 4 月入学博士課程前期一般学生募集要項	3 ページ
III	平成 31 年度 4 月入学博士課程前期社会人特別選抜学生募集要項	20 ページ
IV	大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例による 教育の実施について	25 ページ
V	長期履修学生について	26 ページ
VI	博士課程学生への経済支援、教育・研究支援制度について	28 ページ
VII	提出用書式集	30 ページ

I はじめに

本冊子「平成31年度4月入学横浜国立大学大学院 環境情報学府博士課程前期（修士課程） 第二次学生募集要項」には、平成31年4月に博士課程前期へ入学を希望する人に、必要な情報が書かれています。

募集には、「一般」、「社会人特別選抜」の2種類があります。「一般」に関する事項はⅡ章に書かれています。この章には、専攻に依らない共通事項が前半に、各専攻が個別に指定する事項が後半に記載されています。また、「社会人特別選抜」に関する事項はⅢ章に、社会人の就学に関する特例事項はⅣ章に、長期履修に関する事項はⅤ章に、出願手続きに必要となる書式集はⅦ章に記載されています。なお、教育研究内容の概要は本学府のウェブサイトに掲載しています。

入学を希望する人は本冊子をよく読んで自分に必要とされる情報を正確に取得し、間違いのないように出願手続を行なってください。

出願に際しては、**必ず志望先の指導教員とよく相談して** 願書を提出してください。志望先の指導教員がわからない場合は、本学府のウェブサイトに掲載の教育研究内容の概要を読むか、表紙裏面に示す各専攻別の問い合わせ教員へお問い合わせください。

志願者の入学試験成績及び出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、本人の申請に伴う入学料免除等の福利厚生関係の資料及び本学における諸調査・研究にも利用することがあります。調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。

第二次募集では、学生を受け入れることができない指導教員がいます。

必ず、志望する指導教員に確認を行い、了承を得てから出願してください。

※志望指導教員の了承を得ないで出願した場合は、不合格になることがあります。

安全保障輸出管理について

横浜国立大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人横浜国立大学 安全保障輸出管理規則」を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から外国人留学生の受入れについては厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合がありますので、願書の提出の前に、指導教員予定者と相談するなど、出願にあたっては注意してください。なお、外国人留学生の方は入学時に「外国為替及び外国貿易法」を遵守する誓約書に署名の上、提出していただきます。

詳細については研究推進機構ホームページを参照してください。

http://www.ripo.ynu.ac.jp/index/adscreening_jp

Ⅱ 平成31年度4月入学博士課程前期 一般学生募集要項

1. 出願資格

次のいずれか一つに該当する者とする。

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者及び平成31年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定（大学改革支援・学位授与機構）により学士の学位を授与された者及び平成31年3月31日までに学士の学位を取得見込みの者^[注1]
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (5) の2 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (8) 平成31年3月31日において学校教育法第83条に定める大学に3年以上（休学期間を除く）在学した者であって、本学府の定める単位を優秀な成績で修得見込みであると認めたもの^[注2、4]
- (9) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者であって、本学府の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの^[注5]
- (10) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者であって、本学府の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの^[注5]
- (11) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本学府において、本学府の教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの^[注5]
- (12) 大学院において個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学府が認めた者で、平成31年3月31日までに22歳に達するもの^[注3、5]

[注1] (2)における平成31年3月31日までに学士の学位を取得見込みの者とは、学位規則第6条第1項の規定に基づき大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものと認定した短期大学および高等専門学校に置かれた専攻科修了見込みの者で、平成30年10月までに大学改革支援・学位授与機構に学位の授与を申請した者です。

[注2] (8)の対象となる者の要件は以下のa)とb)です。

a) 平成30年3月末（学部3年次）の時点で、当該志願者の所属学科（あるいはこれに準ずる成績判定単位）における成績順位が上位5%以内か、あるいは総修得単位の3/4以上が評価点80点以上の評価であること。

b) 原則として、学部2年次修了までに必要な全ての必須科目に合格し、かつ、90単位以上を修得していること。

[注3] (12)の対象となる者は、以下のとおりです。

①短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者など大学卒業資格を有していない者。

②大学卒業までに16年を要しない国の大学を卒業した者で、大学教育修了後、日本国内または外国の大学、大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として1年以上研究に従事した者および本大学院入学前までに1年以上研究に従事する見込みの者。

[注4] (8)による出願を希望する者は、事前審査を行うことが必要です。

下記の①～⑤を、平成30年10月1日(月)から4日(木)までに環境情報学府係に提出してください。窓口で提出の場合、書類一式を任意の角形2号の封筒(志望専攻名を記入)に入れて、**必ず、厳封した状態で提出**してください。窓口で書類のチェックは行いません。

窓口受付時間 9時～12時45分、13時45分～16時です。

また、郵送の場合は、平成30年10月4日(木)までに**書留郵便**で送付してください(期間**内必着**)。ただし、日本国内の発信日が平成30年10月3日(水)の場合は**書留速達郵便**にしてください。

①出願資格認定申請書(書式5)

②出願資格証明および推薦書(書式7)

③成績証明書

④当該大学の履修基準を示す書類あるいはその写し

⑤372円分の切手を貼付した郵便番号、住所(日本国内)、氏名を記入した長形3号の封筒書式5および書式7は下記の環境情報研究院・環境情報学府のウェブサイト「平成30年度に実施する大学院入試」のページに掲載しています。ダウンロード後、印刷して使用してください。印刷にあたっては、すべてA4サイズ・白色用紙に「片面印刷」とします。

http://www.eis.ynu.ac.jp/category04/examination_schedule.html

審査の結果については平成30年10月11日(木)に返信用封筒で発送します。なお、10月11日(木)以降、環境情報学府係にお問い合わせ頂ければお知らせします。受付時間は9時～12時45分および13時45分～16時です。

[注5] (9)～(12)による出願を希望する者は、事前審査を行うことが必要です。

下記の①～⑥を、平成30年10月1日(月)から4日(木)までに環境情報学府係に提出してください。

窓口で提出の場合、書類一式を任意の角形2号の封筒(志望専攻名を記入)に入れて、**必ず、厳封した状態で提出**してください。窓口で書類のチェックは行いません。

窓口受付時間 9時～12時45分、13時45分～16時です。

また、郵送の場合は、平成30年10月4日(木)までに**書留郵便**で送付してください(期間**内必着**)。ただし、日本国内の発信日が平成30年10月3日(水)の場合は**書留速達郵便**にしてください。

①出願資格認定申請書(書式5)

②出願資格認定調書(書式6)

③最終学歴の卒業証明書または在学期間証明書

④最終学歴の成績証明書

⑤研究経験および研究業績書[様式は任意]

⑥372円分の切手を貼付した郵便番号、住所(日本国内)、氏名を記入した長形3号の封筒書式6は上記[注4]で示した環境情報研究院・環境情報学府のウェブサイト「平成30年度に実施する大学院入試」のページに掲載しています。ダウンロード後、印刷して使用してください。印刷にあたっては、すべてA4サイズ・白色用紙に「片面印刷」とします。

審査の結果については平成30年10月11日(木)に返信用封筒で発送します。なお、10月11日(木)以降、環境情報学府係にお問い合わせ頂ければお知らせします。受付時間は9時～12時45分および13時45分～16時です。

2. 募集人員

専攻	教育プログラム	募集人員
人工環境専攻	安全環境工学プログラム	若干名
	環境学プログラム	
	社会環境プログラム	

自然環境専攻	生態学プログラム	若 干 名
	地球科学プログラム	
	環境学術プログラム	
情報環境専攻	情報学プログラム	若 干 名
	数理科学プログラム	
	情報学術プログラム	
計		若 干 名

※あらかじめ、志望先の指導教員とよく相談してから、願書を提出してください。

志望先の指導教員が分からない場合には、表紙裏面に示す各専攻別問い合わせ教員へお問合せください。

3. 出願期間

平成30年10月29日(月)から11月2日(金)まで 書留速達郵便による郵送受付

出願書類の受付は郵送のみです。窓口受付は行いません。郵送は**書留速達郵便**とします。

出願に必要な書式は環境情報研究院・環境情報学府のウェブサイト「平成30年度に実施する大学院入試」のページの提出用書式集を掲載しています。ダウンロードして作成してください。様式の印刷はすべてA4サイズ・白色用紙に「片面印刷」とします。書類を書き損じた場合は、誤った箇所には二重線を引き、余白に正しい内容を記載してください。同じページに掲載している「出願書類送付用ラベル」を任意の封筒(角形2号)に貼り付けて、平成30年11月2日(金)までに、環境情報学府係へ郵送してください。

受付期限後到着のものは受理しませんので、郵便事情等を十分考慮して早目に、送付してください。ただし、出願期間を過ぎて到着した出願書類のうち、平成30年11月1日(木)までの発信局消印のあるものだけに限り受理します。

[注]土曜日、日曜日・休日は郵便業務を行わない郵便局があるので事前に確認してください。

4. 出願手続

(1) 出願書類等

日本語または英語以外の証明書については、和訳または英訳を添付してください。

なお、書式1、書式3、書式4、書式8についてはVII章を参照してください。

出 願 書 類 等	注 意 事 項	書式 番号
入学願書・写真	消えるタイプのボールペンは使用しないこと。出願前3か月以内に撮影した写真(上半身のみ無帽のもの、縦4cm、横3cmの2枚)を入学願書および受験票に貼付すること。	1
卒業証明書または卒業見込証明書	1) 出身大学(在籍大学)作成の原本を提出すること。コピーは不可。 ただし、外国人留学生でやむを得ず卒業証書のコピーをもって代える場合は必ず、卒業証書原本を事前に受付窓口へ提示すること。 2) 外国の大学を卒業した場合は、学位証明書など取得学位が記載されているものを併せて提出すること(卒業証明書で、取得学位が確認できるものは不要とする)。コピーは不可。日本語もしくは英語以外で作成された証明書については和訳もしくは英訳を添付すること。 3) 出願資格(8)で出願する者は「在学証明書」を提出すること。 4) 出願資格(2)の者で、学士の学位を授与された者は、大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与証明書を提出すること。学士の学位を授与される見込みの者は、在籍学校長が発行した学位授与申請予定証明書を提出すること。	—

成績証明書	1) 出身大学（在籍大学）の学長または学部長が作成した原本を提出すること。 コピーは不可 。外国の大学を卒業した場合で日本語もしくは英語以外で作成された証明書については、和訳もしくは英訳を添付すること。 2) 大学に編入した者は、編入学前の大学等の成績証明書を併せて提出すること。教養課程と専門課程が分かれている場合は、両方提出すること。	—
入学検定料	払込金額：30,000円 払込手数料は、入学志願者本人の負担とする。 払込期間：出願期間に間に合うように払い込むこと。 払込方法 ① 日本国内居住の日本人及び外国人留学生志願者 【コンビニエンスストアで支払う場合】 *セブンイレブン、ローソン・ミニストップ、ファミリーマート、サークルK・サンクスに限る。操作の手順は別紙の案内書「入学検定料支払方法のご案内」を参照すること。店内にある情報端末機を利用して払い込みを行うこと。 ・ATMでは振り込みできない。 必ず、レジで払い込むこと。 ② 海外在住の志願者及び日本国内居住の外国人留学生志願者 クレジットカード（VISA・MasterCard・JCB・American Express・MUFG・DC・UFJ・NICOS）・中国銀聯網決済により払い込むことができる。 詳細は、本学ホームページ「入試・入学」より「大学院入学検定料のクレジットカードによる払込」を閲覧すること。 (http://www.ynu.ac.jp/exam/graduate/payment/index.html) [注1] 払込済みを証明する「収納証明書」、「支払い完了通知のメール画面を印刷したもの」を所定の貼付用紙（書式8）の欄に貼り付けて出願書類に同封すること。 [注2] 入学検定料の支払い手続きをしない場合は出願を受理しない。 [注3] 日本政府(文部科学省)国費留学生は不要とする。 出願の際は、必ず国費外国人留学生証明書を同封すること。コピーは不可。	8
返信用封筒（1通）	長形3号の封筒に郵便番号、住所（日本国内）、氏名を記入の上、速達郵便料金の切手（372円）を貼付し、 1通 提出すること。	—
返信用封筒ラベル	本学府所定の書式を使用すること。 郵便番号、住所（日本国内）、氏名を記入すること。	—
在留カード等*	現在日本国に在住している外国人の志願者は、在留カードの両面をコピーして提出すること。 *その他の外国人の志願者は、パスポートのコピーを提出すること。	—
履歴書*	本学府交付のものを使用すること。 ただし、出願資格（1）の出願者は除く。	3
研究（希望）計画書	これまでに行った研究の概要と、これから本学府で行いたい研究への抱負や研究（希望）計画を日本語1,000文字（英語500語）以内で記入して提出すること。	4
その他	推薦書があれば添付すること。	—

*印の書類は外国人のみ提出すること。

(2) 提出書類の免除

出願資格（8）、（9）～（12）による出願者は、出願資格認定時に提出した書類等の再提出を免除します。

(3) 全専攻で指定する外部英語テストのスコアシート（以下、スコア証明書）原本の提出が必要です。

TOEIC、TOEFL のスコア利用について

- ・利用対象となる試験及び提出するスコア証明書は下表のとおりです。

対象となる試験	提出するスコア証明書
TOEIC公開テスト	Official Score Certificate (公式認定証)
TOEFL -iBT TOEFL -PBT	Examinee Score Report (受験者用控えスコア票)

※ TOEIC-IP 及びTOEFL-ITPなどの団体受験制度、TOEIC Bridge、TOEIC SWのスコア証明書は認められません。

- ・受験生は、いずれかのスコア証明書（コピー不可．顔写真付き．原本のみ）を、入学試験日（筆記試験当日）に持参し、学科試験 I の試験開始時に提出して下さい。
- ・スコア証明書は、入学試験日（筆記試験当日）から起算して2年以内のものを提出して下さい。複数の試験を受験した場合は、合計得点の最も高いものを提出して下さい。
- ・TOEICのスコアは、下記の関係を用いて100点満点に換算し外国語（英語）の点数とします。

換算方法（TOEICベース）

TOEIC	換算方法	外国語（英語）
～ 349点以下	0	0点
350点 ～ 500点	$(\text{TOEIC} - 350) / 3$	0点～50点
500点 ～ 800点	$(\text{TOEIC} - 500) / 6 + 50$	50点～100点
801点以上～		100点

TOEFLの得点の換算に関しては、以下の方法により、TOEICの得点に換算します。

- ▶ TOEFL -iBTの得点は、下記の換算表によりTOEFL-PBTの得点に換算する。
 - ▶ TOEFL -PBTの得点は、 $(\text{TOEFL-PBT得点} - 296) \div 0.348 = \text{TOEICの得点}$ に換算する。
- ※小数点以下の得点は四捨五入する。

TOEFL-iBTとTOEFL-PBTの得点換算表

iBT	PBT	iBT	PBT	iBT	PBT	iBT	PBT	iBT	PBT
120	673-677	101-102	607-610	77-78	547	58	493	41-42	437-440
119	670	100	600-603	76	540-543	57	487-490	40	433
118	667	98-99	597	74-75	537	56	483	39	430
117	660-663	96-97	590-593	72-73	533	54-55	480	38	423-427
116	657	94-95	587	71	527-530	53	477	36-37	420
114-115	650-653	92-93	580-583	69-70	523	52	470-473	35	417
113	647	90-91	577	68	520	51	467	34	410-413
111-112	640-643	88-89	570-573	66-67	517	49-50	463	33	407
110	637	86-87	567	65	513	48	460	32	400-403
109	630-633	84-85	563	64	507-510	47	457	30-31	397
106-108	623-627	83	557-560	62-63	503	45-46	450-453	29	390-393
105	617-620	81-82	553	61	500	44	447	28	387
103-104	613	79-80	550	59-60	497	43	443	26-27	380-383

5. 選抜方法

選抜は、**筆記試験と口述試験**によって行います。

(1) 外国語試験

外国語の筆記試験は実施しません。TOEICまたはTOEFLのスコア証明書を提出すること。
条件を満たしたスコア証明書の提出が無い場合は不合格とします。なお、提出されたスコア証明書は、学科試験Ⅰの終了後に返却します。

(2) 筆記試験等選抜

筆記試験または筆記試験・口述試験による学力検査、出願書類審査によって行います。出願資格(8)による出願者でこの試験に合格した人は、所属学科における3年次までの成績証明書を基に、最終的な合否を決定します。

6. 検査科目の日時、場所

(1) 筆記試験等選抜の日程

学力検査を平成30年11月28日(水)および29日(木)に実施します。学科試験の内容は専攻によって異なります。

筆記試験の場所および口述試験の日時・場所は、平成30年11月14日(水)に、各専攻の「学力検査案内」を日本国内住所の本人宛に発送します。

7. 合格者発表

平成30年12月13日(木) 16時ごろ

合格者には合格通知書を郵送します。また、本学府のウェブサイト¹に合格者受験番号を掲載します。

¹http://www.eis.ynu.ac.jp/category04/examination_schedule.html

なお、電話などによる合否結果の照会には一切応じません。

出願資格(8)に基づく出願者の第1次合格発表も上記と併せて行います。合格した者は、平成31年3月4日(月)までに、所属学科3年次までの成績証明書を提出してください。これを基に最終的な合否を決定します。

志望した専攻が必要と認めた場合には、面接を行うことがあります。この場合、日時と場所は別途、各専攻から通知します。なお、最終的に合格した者には平成31年3月8日(金)に合格通知書を郵送します。

8. 入学時に必要な経費

(1) 入学料 282,000円(現行)

(2) 授業料 半期分 267,900円(年額 535,800円)(現行)

[注1] (1)を入学手続期間：平成31年3月13日(水)～3月19日(火)に納入してください。

入学手続書類は合格通知書と一緒に送付します。

[注2] 入学料および授業料は、改定される場合があります。

[注3] 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。

上記の入学手続期間内に手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取扱います。

9. 注意事項

(1) 筆記試験等選抜(筆記試験・口述試験)当日は、必ず受験票を携帯してください。携帯電話などは試験室に入る前に電源を切ってカバンの中に収納してください。

(2) 各専攻の学力検査「学科試験Ⅰ(筆記試験)」・「学科試験Ⅱ(口述試験)」を1科目でも受験しない場合は、不合格となりますので注意してください。

(3) 本試験に関する変更等が発生した場合は、本学府のウェブサイト²で出願者にお知らせします。

(4) 出願手続後の提出した書類の内容変更は認めません。また、出願書類等は返却しません。

(5) 出願書類の記載事項に記入もれやその他の不備がある場合は、出願書類は受理しません。

(6) 出願書類に虚偽の記載があった場合、入学後でも入学を取り消すことがあります。

- (7) 一度払込みをした入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。返還請求ができるのは、「出願をしなかった（出願が受理されなかった）」場合または、「検定料を二重に払い込んだ」場合です。返還請求方法は、返還請求願・返還請求理由書・「検定料支払・払込証明書」が必要です。環境情報学府係へ問い合わせください。
- (8) 出願資格（8）により本学府に入学した者の学部学生としての学籍上の身分は退学となります。従って、各種国家試験等の資格試験の受験資格で、大学の学部を卒業していることを要件とするものについては、受験資格を欠くことになりますので注意してください。ただし、大学院入学後に大学改革支援・学位授与機構に申請し、審査・試験に合格した者は、学士の学位を取得することができます。
- (9) 官公庁又は会社等に在職している者は、入学手続きの際に、その長又は代表者の**就学承認書（様式は任意とする）**を必要としますので、あらかじめ用意をしてください。
- (10) 入学手続き後は、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしません。
- (11) 在留資格「留学」を取得するに当たっては、留学生生活を維持できる経済的基盤を有している必要があります。
留学生は入学手続き時に「安全保障輸出管理を遵守する誓約書」に署名し提出してもらいます。
- (12) 入学後の経済支援制度として「入学料免除・授業料免除制度」・「奨学金制度」があります。また、学生寮への入居希望者は入学手続き期間より前に申請手続きが必要となる場合があるため各自において学務部学生支援課ウェブサイトの学生寮のページ「入居者募集・決定」を確認して期間内に手続きをしてください。（<http://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/>）
- (13) 過去の入学試験問題（筆記試験の問題のみ）の閲覧は、本学理工学系研究図書館において行うことができます。（入学試験問題はコピー可、ただし身分証明書が必要）理工学系研究図書館の開館日等は本学ホームページ（<http://www.lib.ynu.ac.jp/guide/calendar.html>）で確認してください。なお、理工学系研究図書館が平日で休館の場合にのみ、環境情報学府係で行うことができます。閲覧時間は、10:00～16:30（職員の休憩時間の12:45～13:45は除く）となります。
- (14) 障がい等のある入学志願者の事前相談
 心身の障がい等により、受験及び修学の上で配慮を必要とする場合は、出願前までに必ず環境情報学府係へ10ページの様式により申し出てください。また、出願後の不慮の事故などで負傷し、受験及び修学の上で配慮が必要となった場合も、その時点で速やかに10ページの様式により申し出てください。なお、下表から判断ができない場合については、問い合わせてください。

【代表的な例】

区 分	障がいの程度
視覚障がい	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障がいが高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障がい	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の和声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号にかかげる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規則を必要とする程度のもの
発達障がい	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいのために配慮を必要とする者

(様式) A4 判縦

平成 年 月 日

横浜国立大学長 殿

ふりがな
氏 名

生年月日

住 所 〒

電話番号

横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。

記

1. 志望する学府・専攻・プログラム
2. 障がい等の種類、程度
3. 受験上配慮を希望する事項・内容
4. 修学上配慮を希望する事項・内容
5. その他

(添付書類) 診断書または身体障害者手帳(写)、その他参考資料

1 1. 人工環境専攻の学力検査日程と学力検査内容

(1) 特別選抜と筆記試験等選抜に共通する事項

希望する教育プログラムと指導教員を以下の表の中から選択してください。

教育プログラム (教育プログラムコード)	指導教員	参考：取得可能学位
安全環境工学 (HG 1)	雨宮隆、荒牧賢治、伊藤暁彦、大谷英雄、大谷裕之、岡泰資、大矢勝、笠井尚哉、亀屋隆志、熊崎美枝子、小林剛、澁谷忠弘、白石俊彦、鈴木淳史、田中良巳、中井里史、中野健、藤井麻樹子、本田清、本藤祐樹、松宮正彦、松本真哉、三宅淳巳、安本雅典	修士（工学）
環境学 (HG 2)	雨宮隆、荒牧賢治、伊藤暁彦、遠藤聡、大矢勝、亀屋隆志、小林剛、中井里史、鳴海大典、藤井麻樹子、本藤祐樹、松宮正彦、松本真哉、安本雅典	修士（環境学）
社会環境 (HG 3)	安藤孝敏、遠藤聡、亀屋隆志、小林剛、周佐喜和、中井里史、鳴海大典、長谷部英一、本藤祐樹、宮崎隆、安本雅典	修士（学術）

(2) 筆記試験等選抜

1. 日 時

期 日	試 験 科 目	時 間
11月28日(水)	外 国 語	
	学 科 試 験 I	9時30分～11時30分
	学 科 試 験 II	13時00分～
11月29日(木)	学 科 試 験 II*	10時00分～

* 学科試験Ⅱは11月28日(水)に行いますが、志願者が多数の時は11月28日(水)と11月29日(木)の両日で行います。

- ・外国語の試験はTOEICまたはTOEFLのスコアを利用して実施します。
- ・学科試験Ⅰは筆記試験です。
- ・学科試験Ⅱは口述試験です。

[受験に際しての指示事項]

- ・筆記試験の受験者は試験開始20分前に試験室に入ってください。
- ・学科試験Ⅰおよび学科試験Ⅱの解答に英語を使うことを認めます。

2. 検査科目

◎ 安全環境工学プログラム（教育プログラムコード：HG 1）

試験科目	出題内容等（配点）
外国語	英語（100点） 英語の試験は、TOEICまたはTOEFLのスコア証明書を提出すること。 筆記試験当日の学科試験Ⅰの試験開始時にスコアのうちベストの成績証明書またはスコアシート（コピー不可、原本のみ）を提出すること。なお、提出可能な成績証明書・スコアシートは入学試験日（筆記試験当日）から起算して <u>2年以内</u> のものとする。これらの提出がない場合は不合格とする。 TOEICとTOEFLの得点の換算に関しては、7ページを参照のこと。
学科試験Ⅰ	安全環境工学プログラムにおける教育分野（安全工学、環境工学、機械工学、材料工学）に関する問題群の中から選択（200点）
学科試験Ⅱ	希望する研究分野に関する口述試験（200点）

[受験上の注意]

- ・ 受験する科目を決め、必ず事前（入学試験の2週間以上前）に志望指導教員と相談の上、決定すること。志望指導教員に指定された科目を解答しない場合、不合格になることもある。
- ・ プログラム機能を持たない関数電卓を持参し、使用することができます。

◎ 環境学プログラム（教育プログラムコード：HG 2）

試験科目	出題内容等（配点）
外国語	英語（100点） 英語の試験は、TOEICまたはTOEFLのスコア証明書を提出すること。 筆記試験当日の学科試験Ⅰの試験開始時にスコアのうちベストの成績証明書またはスコアシート（コピー不可、原本のみ）を提出すること。なお、提出可能な成績証明書・スコアシートは入学試験日（筆記試験当日）から起算して <u>2年以内</u> のものとする。これらの提出がない場合は不合格とする。 TOEICとTOEFLの得点の換算に関しては、7ページを参照のこと。
学科試験Ⅰ	環境学プログラムにおける教育分野（環境マネジメント、環境分析学、環境影響評価）に関する問題群の中から選択（200点）
学科試験Ⅱ	希望する研究分野に関する口述試験（200点）

[受験上の注意]

- ・ 受験する科目を決め、必ず事前（入学試験の2週間以上前）に志望指導教員と相談の上、決定すること。志望指導教員に指定された科目を解答しない場合、不合格になることもある。
- ・ プログラム機能を持たない関数電卓を持参し、使用することができます。

◎ 社会環境プログラム（教育プログラムコード：HG3）

試験科目	出題内容等（配点）
外国語	英語（100点） 英語の試験は、TOEICまたはTOEFLのスコア証明書を提出すること。 筆記試験当日の学科試験Ⅰの試験開始時にスコアのうちベストの成績証明書またはスコアシート（コピー不可、原本のみ）を提出すること。なお、提出可能な成績証明書・スコアシートは入学試験日（筆記試験当日）から起算して <u>2年以内</u> のものとする。これらの提出がない場合は不合格とする。 TOEICとTOEFLの得点の換算に関しては、7ページを参照のこと。
学科試験Ⅰ	社会環境プログラムにおける教育分野（イノベーションと環境マネジメント、地域政策）に関する問題群の中から選択（200点）
学科試験Ⅱ	希望する研究分野に関する口述試験（200点）

[受験上の注意]

- ・ 受験する科目を決め、必ず事前（入学試験の2週間以上前）に志望指導教員と相談の上、決定すること。志望指導教員に指定された科目を解答しない場合、不合格になることもある。
- ・ プログラム機能を持たない関数電卓を持参し、使用することができます。

12. 自然環境専攻の学力検査日程と学力検査内容

(1) 特別選抜と筆記試験等選抜に共通する事項

希望する教育プログラムと指導教員を以下の表の中から選択してください。

教育プログラム (教育プログラムコード)	指導教員	参考：取得可能学位
生態学 (HH1)	小池文人、酒井暁子、佐々木雄大、中森泰三、松田裕之、森 章、尾形信一、中村達夫、平塚和之、石川正弘、菊池知彦、下出信次、間嶋隆一、山本伸次、和仁良二、及川敬貴、鏡味麻衣子	修士（環境学）
地球科学 (HH2)	石川正弘、菊池知彦、下出信次、間嶋隆一、山本伸次、和仁良二、尾形信一、中村達夫、平塚和之、小池文人、酒井暁子、佐々木雄大、中森泰三、松田裕之、森 章、鏡味麻衣子	修士（理学）
環境学術 (HH3)	及川敬貴、小池文人、酒井暁子、佐々木雄大、中森泰三、松田裕之、森 章、鏡味麻衣子	修士（学術）

(2) 筆記試験等選抜

1. 日 時

期 日	試 験 科 目	時 間
11月28日(水)	外 国 語	
	学 科 試 験 I	9時30分～11時30分
	学 科 試 験 II	13時00分～
11月29日(木)	学 科 試 験 II*	10時00分～

*学科試験Ⅱは11月28日(水)に行いますが、志願者が多数の時は11月28日(水)と11月29日(木)の両日で行います。

- ・外国語の試験はTOEICまたはTOEFLのスコアを利用して実施します。
- ・学科試験Ⅰは筆記試験です。
- ・学科試験Ⅱは口述試験です。

[受験に際しての指示事項]

- ・筆記試験の受験者は試験開始20分前に試験室に入ってください。
- ・学科試験Ⅰおよび学科試験Ⅱの解答に英語を使うことを認めます。

2. 検査科目

◎ 生態学プログラム（教育プログラムコード：HH1）

試験科目	出題内容等（配点）
外国語	英語（100点） 英語の試験は、TOEICまたはTOEFLのスコア証明書を提出すること。 筆記試験当日の学科試験Ⅰの試験開始時にスコアのうちベストの成績証明書またはスコアシート（コピー不可、原本のみ）を提出すること。なお、提出可能な成績証明書・スコアシートは入学試験日（筆記試験当日）から起算して <u>2年以内</u> のものとする。これらの提出がない場合は不合格とする。 TOEICとTOEFLの得点の換算に関しては、7ページを参照のこと。
学科試験Ⅰ	生態学プログラムにおける教育分野（生態科学、生命科学、地質学、古生物学、生物海洋学、法学基礎）に関する問題群の中から選択（200点）
学科試験Ⅱ	希望する研究分野に関する口述試験（200点）

[受験上の注意]

- ・ 受験する科目を、必ず事前（入学試験の2週間以上前）に志望指導教員と相談の上、決定すること。志望指導教員に指定された科目を解答しない場合、不合格になることもある。

◎ 地球科学プログラム（教育プログラムコード：HH2）

試験科目	出題内容等（配点）
外国語	英語（100点） 英語の試験は、TOEICまたはTOEFLのスコア証明書を提出すること。 筆記試験当日の学科試験Ⅰの試験開始時にスコアのうちベストの成績証明書またはスコアシート（コピー不可、原本のみ）を提出すること。なお、提出可能な成績証明書・スコアシートは入学試験日（筆記試験当日）から起算して <u>2年以内</u> のものとする。これらの提出がない場合は不合格とする。 TOEICとTOEFLの得点の換算に関しては、7ページを参照のこと。
学科試験Ⅰ	地球科学プログラムにおける教育分野（地質学、古生物学、生物海洋学、生命科学、生態科学）に関する問題群の中から選択（200点）
学科試験Ⅱ	希望する研究分野に関する口述試験（200点）

[受験上の注意]

- ・ 受験する科目を、必ず事前（入学試験の2週間以上前）に志望指導教員と相談の上、決定すること。志望指導教員に指定された科目を解答しない場合、不合格になることもある。

◎ 環境学術プログラム（教育プログラムコード：HH3）

試験科目	出題内容等（配点）
外国語	英語（100点） 英語の試験は、TOEICまたはTOEFLのスコア証明書を提出すること。 筆記試験当日の学科試験Ⅰの試験開始時にスコアのうちベストの成績証明書またはスコアシート（コピー不可、原本のみ）を提出すること。なお、提出可能な成績証明書・スコアシートは入学試験日（筆記試験当日）から起算して <u>2年以内のものとする</u> 。これらの提出がない場合は不合格とする。 TOEICとTOEFLの得点の換算に関しては、7ページを参照のこと。
学科試験Ⅰ	環境学術プログラムにおける教育分野（法学基礎、生態科学）に関する問題群の中から選択（200点）
学科試験Ⅱ	希望する研究分野に関する口述試験（200点）

[受験上の注意]

- ・ 受験する科目を、必ず事前（入学試験の2週間以上前）に志望指導教員と相談の上、決定すること。志望指導教員に指定された科目を解答しない場合、不合格になることもある。

1 3. 情報環境専攻の学力検査日程と学力検査内容

(1) 特別選抜と筆記試験等選抜に共通する事項

希望する教育プログラムと指導教員を以下の表の中から選択してください。

教育プログラム (教育プログラムコード)	指導教員	参考：取得可能学位
情報学 (H J 1)	岡嶋克典、四方順司、白川真一、白崎実、田村直良、富井尚志、長尾智晴、額田順二、松井和己、松本勉、森辰則、吉岡克成、山田貴博	修士（情報学）
数理科学 (H J 2)	牛越恵理佳、小関健太、四方順司、白崎実、中本敦浩、西村尚史、額田順二、根上生也、野間淳、原下秀士	修士（理学）
情報学術 (H J 3)	白崎実、額田順二、藤井友比呂、マーティンロジャー、松井和己、山田貴博	修士（学術）

(2) 筆記試験等選抜

1. 日 時

期 日	試 験 科 目	時 間
11月28日(水)	外 国 語	
	学 科 試 験 I	9時30分～11時30分
	学 科 試 験 II	13時00分～
11月29日(木)	学 科 試 験 II*	10時00分～

*学科試験IIは11月28日(水)に行いますが、志願者が多数の時は11月28日(水)と11月29日(木)の両日で行います。

- ・外国語の試験はTOEICまたはTOEFLのスコアを利用して実施します。
- ・学科試験Iは筆記試験です。
- ・学科試験IIは口述試験です。

[受験に際しての指示事項]

- ・筆記試験の受験者は試験開始20分前に試験室に入ってください。
- ・学科試験Iおよび学科試験IIの解答に英語を使うことを認めます。

2. 検査科目

◎ 情報学プログラム（教育プログラムコード：H J 1）

試験科目	出題内容等（配点）
外国語	英語（100点） 英語の試験は、TOEICまたはTOEFLのスコア証明書を提出すること。 筆記試験当日の学科試験Ⅰの試験開始時にスコアのうちベストの成績証明書またはスコアシート（コピー不可、原本のみ）を提出すること。なお、提出可能な成績証明書・スコアシートは入学試験日（筆記試験当日）から起算して <u>2年以内</u> のものとする。これらの提出がない場合は不合格とする。 TOEICとTOEFLの得点の換算に関しては、7ページを参照のこと。
学科試験Ⅰ	情報学プログラムにおける教育分野（数学、情報学、数理情報学）に関する問題群の中から選択（200点）
学科試験Ⅱ	希望する研究分野に関する口述試験（200点）

[受験上の注意]

- ・学科試験Ⅰに限り語学の辞書を使用することができますが、電子辞書は使用できません。
- ・電卓を持ち込むことはできません。

◎ 数理科学プログラム（教育プログラムコード：H J 2）

試験科目	出題内容等（配点）
外国語	英語（100点） 英語の試験は、TOEICまたはTOEFLのスコア証明書を提出すること。 筆記試験当日の学科試験Ⅰの試験開始時にスコアのうちベストの成績証明書またはスコアシート（コピー不可、原本のみ）を提出すること。なお、提出可能な成績証明書・スコアシートは入学試験日（筆記試験当日）から起算して <u>2年以内</u> のものとする。これらの提出がない場合は不合格とする。TOEICとTOEFLの得点の換算に関しては、7ページを参照のこと。
学科試験Ⅰ	数理科学プログラムにおける教育分野（数学、数理情報学、計算力学）に関する問題群の中から選択（200点）
学科試験Ⅱ	希望する研究分野に関する口述試験（200点）

[受験上の注意]

- ・学科試験Ⅰに限り語学の辞書を使用することができますが、電子辞書は使用できません。
- ・電卓を持ち込むことはできません。

◎ 情報学術プログラム（教育プログラムコード：H J 3）

試験科目	出題内容等（配点）
外国語	英語（100点） 英語の試験は、TOEIC または TOEFL のスコア証明書を提出すること。 筆記試験当日の学科試験Ⅰの試験開始時にスコアのうちベストの成績証明書またはスコアシート（コピー不可、原本のみ）を提出すること。なお、提出可能な成績証明書・スコアシートは入学試験日（筆記試験当日）から起算して <u>2年以内</u> のものとする。これらの提出がない場合は不合格とする。TOEIC と TOEFL の得点の換算に関しては、7ページを参照のこと。
学科試験Ⅰ	情報学術プログラムにおける教育分野（数学，理論言語学，計算力学，数理社会学）に関する問題群の中から選択（200点）
学科試験Ⅱ	希望する研究分野に関する口述試験（200点）

[受験上の注意]

- ・学科試験Ⅰに限り語学の辞書を使用することができますが、電子辞書は使用できません。
- ・電卓を持ち込むことはできません。

Ⅲ 平成31年度4月入学博士課程前期 社会人特別選抜学生募集要項

1. 趣 旨

本学府においては、社会人の継続研修および再教育の場を提供するとともに、それを橋渡しとして、大学と産業界との交流を深め、新しい学問と技術の発展に寄与することを目的として、その門戸を社会に向けて開放しています。その一環として、社会人の勉学を容易にするために、社会人を対象として大学院設置基準第14条に定める特例（IV章を参照）による教育を実施するとともに、ここに掲げる特別選抜制度を実施して社会人の就学の便を図っています。

2. 出願資格

次の（A）、（B）、（C）のいずれかに該当する者で、かつ（1）、（2）とも満たす者

- （A）官公庁、会社、非営利団体等に本大学院入学前までに正規職員として1年以上勤務した経験がある者、かつ、入学後も同一職場内での身分を有する者
- （B）官公庁、会社、非営利団体等の所属長から推薦を受けて派遣される者で、かつ、本大学院入学後も同一職場内での身分を有する者
- （C）その他、本学府が社会人として認めた者^[注1]

- （1）3ページ「1. 出願資格」の（1）～（12）により、学士の学位を有する者（平成31年3月31日までに取得見込みの者を含む）または本学府が認めた者^[注2]
- （2）学部教育として、志望の専攻と関連系統の専門教育を受けている者

◎ 社会人特別選抜として出願する者は、出願資格審査があります。

下記の①～④を、平成30年10月1日（月）から4日（木）までに、環境情報学府係に提出してください。

提出する書類一式を任意の角形2号の封筒（志望専攻名を記入）に入れて、**必ず、厳封した状態で提出**してください。窓口でのチェックは行いません。

窓口受付時間 9時～12時45分、13時45分～16時です。

郵送の場合は、平成30年10月4日（木）までに、**書留郵便**で送付してください（**期間内必着**）。ただし、日本国内の発信日が平成30年10月3日（水）の場合は**速達書留郵便**にしてください。

- ①出願資格認定申請書（書式5）
- ②履歴書（様式は任意）
- ③推薦書（勤務先所属長が作成したもの。ただし、上記出願資格の（B）に該当する者のみ。）
- ④372円分の切手を貼付した郵便番号、住所（日本国内）、氏名を記入した長形3号の封筒
書式5は環境情報研究院・環境情報学府のウェブサイト「平成30年度に実施する大学院入試」のページに掲載しています。ダウンロード後、印刷して使用してください。印刷にあたっては、A4サイズ・白色用紙に「片面印刷」とします。

http://www.eis.ynu.ac.jp/category04/examination_schedule.html

審査の結果については、平成30年10月11日（木）に返信用封筒で発送します。また、平成30年10月11日（木）以降、環境情報学府係にお問い合わせ頂ければお知らせします。受付時間は9時～12時45分および13時45分～16時です。

[注1] 詳細については、表紙裏面の専攻別の問い合わせ教員にお問い合わせください。

[注2] 3ページ「1. 出願資格」の（9）～（12）で出願を希望する者は事前審査が必要です。4ページの[注5]に従って、必要な書類を提出してください。

3. 募集人員

専攻	教育プログラム	募集人員
人工環境専攻	安全環境工学プログラム	若干名
	環境学プログラム	
	社会環境プログラム	
自然環境専攻	生態学プログラム	若干名
	地球科学プログラム	
	環境学術プログラム	
情報環境専攻	情報学プログラム	若干名
	数理学プログラム	
	情報学術プログラム	

※**あらかじめ、志望先の指導教員とよく相談してから、願書を提出してください。**

志望専攻の指導教員がわからない場合には、表紙裏面に示す専攻別問い合わせ教員へお問い合わせください。

4. 出願期間

平成30年10月29日(月)から11月2日(金)まで 書留速達郵便による郵送受付
(事前審査を受けてからの出願をお願いします。前ページ参照のこと。)

出願書類の受付は郵送のみです。窓口受付は行いません。郵送は**書留速達郵便**とします。

出願に必要な書式は環境情報研究院・環境情報学府のウェブサイト「平成30年度に実施する大学院入試」のページの提出用書式集に掲載しています。ダウンロードして作成してください。様式の印刷はすべてA4サイズ・白色用紙に「片面印刷」とします。書類を書き損じた場合は、誤った箇所に二重線を引き、余白に正しい内容を記載してください。**同じページに掲載している「出願書類送付用ラベル」を任意の封筒(角形2号)に貼り付けて、平成30年11月2日(金)までに、環境情報学府係へ郵送してください。受付期限後到着のものは受理しません**ので、郵便事情等を十分考慮して早目に送付してください。

ただし、出願期間を過ぎて到着した出願書類のうち、平成30年11月1日(木)までの発信局消印のあるものに限り受理します。

[注]土曜日、日曜日・休日は郵便業務を行わない郵便局があるので事前に確認してください。

5. 出願手続

日本語または英語以外の証明書については、和訳または英訳を添付してください。

なお、書式2、書式3、書式4、書式8についてはVII章を参照してください。

出願書類等	注 意 事 項	書式番号
入学願書・写真	社会人特別選抜用を使用すること。消えるタイプのボールペンは使用しないこと。出願前3か月以内に撮影した写真(上半身のみ無帽のもの、縦4cm、横3cmの2枚)を入学願書および受験票に貼付すること。	2
卒業証明書	出身大学作成の原本を提出すること。コピーは不可。 [出願資格(8)で出願した者は除く] 外国の大学を卒業するなど、やむをえず卒業証書のコピーをもって代える場合は、必ず、卒業証書を事前に受付窓口に掲示すること。	—
成績証明書	出身大学(在籍大学)の学長または学部長が作成した原本を提出すること。	—

入学検定料	<p>払込金額：30,000円 払込手数料は、入学志願者本人の負担とする。 払込期間：出願期間に間に合うように払い込むこと。 払込方法</p> <p>① 日本国内居住の日本人及び外国人留学生志願者 【コンビニエンスストアで支払う場合】 *セブンイレブン、ローソン・ミニストップ、ファミリーマート、サークルK・サンクスに限る。操作の手順は別紙の案内書「入学検定料支払方法のご案内」を参照すること。店内にある情報端末機を利用して払い込みを行うこと。 ・ATMでは振り込みできない。必ず、レジで払い込むこと。</p> <p>② 海外在住の志願者及び日本国内居住の外国人留学生志願者 クレジットカード（VISA・MasterCard・JCB・American Express・MUFG・DC・UFJ・NICOS）・中国銀聯網決済により払い込むことができる。詳細は、本学ホームページ「入試・入学」より「大学院入学検定料のクレジットカードによる払込」を閲覧すること。 (http://www.ynu.ac.jp/exam/graduate/payment/index.html)</p> <p>[注1] 払込済みを証明する「収納証明書」、「支払い完了通知のメール画面を印刷したもの」を所定の貼付用紙（書式8）の欄に貼り付けて出願書類に同封すること。 [注2] 入学検定料の支払い手続きをしない場合は出願を受理しない。 [注3] 日本政府(文部科学省)国費留学生は不要とする。出願の際は、必ず国費外国人留学生証明書を同封すること。コピーは不可。</p>	8
返信用封筒(1通)	長形3号封筒に郵便番号、住所（日本国内）、氏名を記入の上、速達郵便料金の切手（372円）を貼付し、 1通 提出すること。	—
返信用封筒ラベル	本学府所定の書式を使用すること。 郵便番号、住所（日本国内）、氏名を記入すること。	
研究（希望）計画書	これまでに行った研究の概要と、これから本学府で行いたい研究への抱負や研究（希望）計画を日本語1,000文字（英語500語）以内で記入して提出すること。	4
業績報告書	卒業論文または研究論文を有する者のみ、業績概要を添付すること。 また、現在および過去に携わった研究・職務について、その内容を詳しく記入すること。（様式は任意）	—
在留カード等*	現在日本国に在住している外国人の志願者は、在留カードの両面をコピーして提出すること。 *その他の外国人の志願者は、パスポートのコピーを提出すること。	—
履歴書*	用紙は本学府交付のもの。外国人のみ提出すること。	3
その他	推薦書があれば添付すること。	—

*印の書類は外国人のみ提出すること。

なお、出願資格認定時に提出した証明書等の再提出を免除します。

6. 選抜の方法

社会人特別選抜は、次の方法により行います。

- (1) 口述試験、出願書類審査の結果に基づき合格者を決定します。
- (2) 口述試験は専攻科目、研究業績、研究（希望）計画等に関して行います。

7. 選抜日時および場所

- (1) 口述試験日：平成30年11月28日（水）または29日（木）
（各専攻で指示するいずれかの日に実施します。）

- (2) 口述試験の場所および日程等

平成30年11月14日（水）に、各専攻の「口述試験案内」を国内住所の本人宛に発送します。

8. 合格者発表

平成30年12月13日(木) 16時ごろ

合格者には合格通知書を郵便します。また、本学府のウェブサイトにも合格者受験番号を掲載します。

(http://www.eis.ynu.ac.jp/category04/examination_schedule.html)

なお、電話などによる合否結果の照会には一切応じません。

9. 入学時に必要な経費

(1) 入学料 282,000円(現行)

(2) 授業料 半期分 267,900円(年額 535,800円)(現行)

[注1] (1)を入学手続期間：**平成31年3月13日(水)～3月19日(火)**に納入してください。
入学手続書類は合格通知書と一緒に送付します。

[注2] 入学料および授業料は、改定される場合があります。

[注3] 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。

上記の入学手続期間内に手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取扱います。

10. 注意事項

(1) 口述試験当日は、必ず受験票を携帯してください。

携帯電話などは試験室に入る前に電源を切ってカバンの中に収納してください。

(2) 本試験に関する変更等が発生した場合は、本学府のウェブサイトでも出願者にお知らせします。

(3) 出願手続後の提出した書類の内容変更は認めません。また、出願書類等は返却しません。

(4) 出願書類の記載事項に記入もれやその他の不備がある場合は、出願書類は受理しません。

(5) 出願書類に虚偽の記載があった場合、入学後でも入学を取り消すことがあります。

(6) 一度払込みをした入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。返還請求ができるのは、「出願をしなかった(出願が受理されなかった)」場合または、「検定料を二重に払い込んだ」場合です。返還請求方法は、返還請求願・返還請求理由書・「検定料支払・払込証明書」が必要です。環境情報学府係へ問い合わせください。

(7) 官公庁、会社等に在職している者は、入学手続の際に、その長または代表者の**就学承認書(様式は任意とする)**を必要としますので、あらかじめ用意してください。

(8) 入学手続後は、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしません。

(9) 在留資格「留学」を取得するに当たっては、留学生生活を維持できる経済的基盤を有している必要があります。

留学生は入学手続時に「安全保障輸出管理を遵守する誓約書」に署名し提出してもらいます。

(10) 入学後の経済支援制度として「入学料免除・授業料免除制度」・「奨学金制度」があります。

また、学生寮への入居希望者は入学手続期間より前に申請手続きが必要となる場合があるため各自において学務部学生支援課ウェブサイトの学生寮のページ「入居者募集・決定」を確認して期間内に手続きをしてください。(<http://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/>)

(11) 障がい等のある入学志願者の事前相談

心身の障がい等により、受験及び修学の上で配慮を必要とする場合は、出願前までに必ず環境情報学府係へ24ページの様式により申し出てください。また、出願後の不慮の事故などで負傷し、受験及び修学の上で配慮が必要となった場合にも、その時点で速やかに24ページの様式により申し出てください。なお、24ページの表から判断ができない場合については、問い合わせてください。

【代表的な例】

区 分	障がいの程度
視覚障がい	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障がいが高いもののうち拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障がい	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の和声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号にかかげる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規則を必要とする程度のもの
発達障がい	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいのために配慮を必要とする者

(様式) A4 判縦

平成 年 月 日

横浜国立大学長 殿

ふりがな
氏 名
生年月日
住 所〒
電話番号

横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。

記

1. 志望する学府・専攻・プログラム
2. 障がい等の種類、程度
3. 受験上配慮を希望する事項・内容
4. 修学上配慮を希望する事項・内容
5. その他

(添付書類) 診断書または身体障害者手帳(写)、その他参考資料

IV 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例による教育の実施について

本学府では、社会人特別選抜で入学し、入学後も社会人の身分を有する学生（社会人学生）に対して、次のとおり履修等に関する特例を実施しています。

1 修学について

- (1) 修学年限（2年）の年数で修了しようとする学生については、原則として全日通学とし、修了要件に必要な環境情報リテラシー科目、環境情報ジェネリックスキル科目、コア講義科目、専門講義科目等を履修すること。
- (2) 学修年限の年数で修了要件に必要な講義等の履修が困難な学生については、指導教員等（責任指導教員及び指導教員グループ）の指導のもとに、修学年限を超える年数（3～4年）の履修計画書をあらかじめ提出すること。
なお、履修計画に変更がある場合には、その都度申し出て履修計画書を提出すること。

2 履修について

- (1) 演習科目については、開講時間について配慮するので指導教員等に相談すること。
- (2) ワークショップについては、開講時間について配慮するので指導教員等または各専攻の学務委員に相談すること。

V 長期履修学生について

長期履修学生とは、職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士課程前期2年、博士課程後期3年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修して課程を修了することが認められた者をいいます。

長期履修学生に認定された者は、一般の学生とは異なり、修学年数に関係なく、標準修業年限（博士課程前期2年、博士課程後期3年）分の授業料で修学することができます。

1. 申請資格

長期履修学生として申請することができる者は、在学中も職業を有する者とします。

2. 申請の手続き

長期履修学生の申請を希望する者は、次の手順に従い手続きを行ってください。

(1) 出願前

志望指導教員に連絡を取る段階で、長期履修学生の適用を希望する旨を申し出ること。

(2) 入学手続き時

長期履修学生を希望する者は、次の①、②の書類を入学手続き時に提出すること。

① 長期履修学生申請書（別紙様式1：入学手続き書類送付時に送付予定）

② 在職証明書又は在職が確認できる書類

(3) 提出期間は、平成31年3月13日(水)～3月19日(火)（期間厳守）で、入学手続き書類と同封のうえ環境情報学府係へ提出してください。

3. 可否の認定

申請書類に基づき審査のうえ、認定の可否を決定し、4月中旬に通知します。

4. 在学期間

入学時に長期履修を認められた学生の在学期間は、博士課程前期にあつては2年以上4年まで、博士課程後期にあつては3年以上6年までとなります。

なお、各年度の修了月は、3月のほかに博士課程前期は9月、博士課程後期は6月、9月、12月となっていますので、長期履修学生申請書に修了予定年月を記入してください。

5. 授業料の年額

長期履修学生の授業料年額は、授業料の年額に標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を在学期間の年数で除した額となります。

（算出例1）前期課程の長期履修学生申請者が在学期間3年と認定された場合

535,800円 × 2年 ÷ 3年 = 357,200円

（授業料の年額）（標準修業年限）（認定された在学期間）（長期履修学生の授業料年額）

(算出例2) 後期課程の長期履修学生申請者が在学期間5年と認定された場合

$$535,800 \text{ 円} \times 3 \text{ 年} \div 5 \text{ 年} = 321,480 \text{ 円}$$

(授業料の年額) (標準修業年限) (認定された在学期間) (長期履修学生の授業料年額)

6. 在学期間の変更

在学期間の変更は1度限りです。【詳細については必ず、大学院環境情報学府係に相談をすること。】

(1) 在学期間の短縮

長期履修学生は、認定された在学期間を短縮することができます。(ただし、標準修業年限までとする。)

在学期間の短縮を希望する者は、当該学年を修了する2ヶ月前までに「長期履修学生在学期間短縮願」を提出し、承認を得なければなりません。

(2) 在学期間の延長

長期履修学生で特別な事情がある場合は、在学期間の延長をすることができます。

在学期間の延長を希望する者は、在学期間が満了する2ヶ月前までに「長期履修学生在学期間延長願」を提出し、承認を得なければなりません。

なお、在学期間は、博士課程前期4年、博士課程後期6年を超えることができません。

※在学期間延長後の授業料は、標準修業年限(博士課程前期2年、博士課程後期3年)分の授業料から、すでに納付済みの授業料を差し引いた分を延長後の期間で新に算出し、納付することになります。

7. その他

長期履修学生の申請にあたっては、入学願書提出前までに志望先指導教員とよく相談してください。

VI 博士課程学生への経済支援、教育・研究支援制度について

博士課程の学生が、経済的理由等により学業に専念できないことがないように、また、学生の研究活動が活発に行われるように、さまざまな形での経済支援、教育・研究支援の制度が取られています。

経済支援の概要

◆日本学術振興会特別研究員

※対象：博士課程後期学生

日本学術振興会が行う制度で、優れた若手研究者に研究に専念する機会を与えることにより我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的とした、大学院博士課程在学者を対象に研究奨励金を支援する制度です。

特別研究員 DC1（博士課程後期第1年次在学学生） 200,000円/月
DC2（博士課程後期第2年次以上在学学生） 200,000円/月

*平成29年度実績：DC1 1名 DC2 2名

◆日本学生支援機構奨学金

※対象：博士課程前期・後期学生

日本学生支援機構が行う大学在学学生に対する奨学金を貸与する制度で、第一種（無利子）、第二種（有利子）の区分が設けられています。なお、10月上旬に、予約採用に関する説明会があります。

第一種（無利子）：博士課程後期 122,200円/月
第一種（無利子）：博士課程前期 88,000円/月
第二種（有利子）：50,000円・80,000円・
100,000円・130,000円・150,000円/月から選択

*平成29年度実績：第一種 博士課程前期 66名 博士課程後期 6名
：第二種 博士課程前期 11名 博士課程後期 0名

◆横浜国立大学授業料免除

※対象：博士課程前期・後期学生

経済的理由により授業料の納付が困難で、かつ学業が優秀な学生が申請でき、申請者の中から選考のうえ、各学期の授業料の全額または半額が免除される制度です。

全額免除（各学期） 267,900円
半額免除（各学期） 133,950円

*平成29年度実績：全額免除（春学期） 博士課程前期 43名 博士課程後期 27名
（秋学期） 博士課程前期 33名 博士課程後期 24名
：半額免除（春学期） 博士課程前期 38名 博士課程後期 13名
（秋学期） 博士課程前期 56名 博士課程後期 16名

◆RA(リサーチ・アシスタント)(環境情報研究院)

※対象：博士課程後期学生

博士課程後期学生の授業料免除申請者を対象とし、授業料半額免除者及び、授業料免除非該当者をRAとして雇用し、支援を行う制度です。

ただし、日本学術振興会特別研究員、授業料相当額以上の奨学金受給者（日本学生支援機構の奨学金貸与者除く）、一定額以上の収入のある者（社会人学生等）、留年生（ただし、休学期間のある学生は、別途考慮）、国費外国人留学生、外国政府等派遣留学生等は対象となりません。

授業料半額免除者 267,900×1/4相当額
授業料免除非該当者 267,900×1/2相当額

*平成29年度実績：19名

- ◆TA(ティーチング・アシスタント)(横浜国立大学) ※対象:博士課程前期・後期学生
教育的配慮の下に教育補助業務に携わることにより、大学院学生が将来教員・研究者になるためのトレーニングの機会の提供を図り、これに対する手当を支給して支援を行う制度です。
*平成29年度実績: 博士課程前期 215名 博士課程後期 19名

- ◆環境情報学府女性院生研究支援奨学金 ※対象:博士課程後期学生
博士課程後期学生(女性)で、子育てや介護等で経済的に困難を抱えている女性院生が申請でき、申請者の中から選考のうえ、勉学支援のための奨学金を付与する制度です。
月額 3万×5ヶ月(予定)
*平成29年度実績: 4名

教育・研究支援の概要

- ◆横浜国立大学国際学術交流奨励事業(国際会議等出席・海外調査研究等)
※対象:博士課程前期・後期学生
海外における国際会議等での研究発表及び調査研究等に対し、奨励金を支給することにより、学生の研究活動の活性化を図ることを目的とした制度です。
申請者の中から選考のうえ、渡航する地域により、奨励金が給付されます。
*平成29年度実績: 博士課程後期 9名

- ◆国際学会等における発表等支援事業(環境情報学府)
※対象:博士課程後期学生
博士課程後期学生が、原則として海外で開催される国際学会・研究集会に積極的に参加できるよう、参加に必要な経費を援助することにより、国際的に活躍できる研究者の養成に資することを目的とした制度です。
横浜国立大学国際学術交流奨励事業に応募することを前提として申請を受け付け、不採択となった学生に対して審査が行われ、経費の援助を行います。

海外の場合: 140,000円(上限)
国内の場合: 60,000円(上限) いずれも、旅費として支給
*平成29年度実績: 3名

- ◆環境情報研究院共同研究プロジェクト「課題C」 ※対象:博士課程後期学生
独立して研究を行う環境情報学府博士課程後期学生を支援することを目的として、新規プロジェクト課題を募集し、審査を経て採択された課題に研究費を配分する制度です。
*平成29年度実績: 15名

VII 提出用書式集

環境情報学府を受験するために必要な提出書類の書式について説明します。

以下の書式は、環境情報研究院・環境情報学府のウェブサイト「平成30年度に実施する大学院入試」のページの提出用書式集に掲載していますのでご確認ください。ダウンロード後、印刷して使用してください。

印刷にあたっては、すべてA4サイズ・白色用紙に「片面印刷」とします。

http://www.eis.ynu.ac.jp/category04/examination_schedule.html

以下の表は書式の利用方法についてまとめています。

出願書類内訳書別紙1[筆]・別紙2[社]を下記種類に添えて提出して下さい。

書式番号	書 式 タ イ ト ル	利用方法及び使用にあたっての注意
書式1	入 学 願 書 (第二次)	記載指示にしたがい記入すること。
書式2	社会人特別選抜入学願書 (第二次)	記載指示にしたがい記入すること。
書式3	履 歴 書	記載指示にしたがい記入すること。
書式4	研究 (希望) 計画書 (第二次)	本文は日本語1,000文字 (英語500語) 以内で作成すること。
書式5	出願資格認定申請書 (第二次)	記載指示にしたがい記入すること。
書式6	出願資格認定調書 (第二次)	記載指示にしたがい記入すること。
書式7	出願資格証明および推薦書 (第二次)	記載指示にしたがい記入すること。
書式8	検定料支払 (払込) 受付 証明書貼付用紙 (第二次) (入学検定料 30,000円)	記載指示にしたがい、収納証明書若しくは支払い完了時の通知メール画面を印刷したものを貼付すること。

平成31年度4月入学横浜国立大学大学院環境情報学府入学願書および受験票 記入の手引き

- (1) 記入は黒色または青色のボールペンを用い、楷書で正確に記入してください。
- (2) 受験番号※の欄は記入しないでください。
- (3) 志望専攻名の欄および志望プログラム名の欄には、いずれか一つだけを記入してください。
- (4) 外国人は国籍を記入し、在留カードのコピー (両面) またはパスポートのコピーを添付してください。
- (5) 入学願書の履歴事項も忘れずに記入してください。
- (6) 志望先指導教員欄は、教員名を1名記入して下さい。
- (7) 志望先指導教員との連絡日は、入学出願に当たり連絡した日を記入して下さい。